

東アジア文化研究所

発行：東アジア文化研究所所長 崔吉城
751-8503山口県下関市一の宮学園町2-1
東亜大学2号館7階

研究所の設立にあたって

東亜大学は大陸への門戸としての機能を長く果たしてきた下関に位置する教育・研究機関として、東アジアとの結びつきを意識してまいりました。

東アジアの大学という視点を重視することの表明する東亜大学は大陸への門戸としての機能を長く果たしてきた下関に位置する教育・研究機関として、東アジアとの結びつきを意識してまいりました。

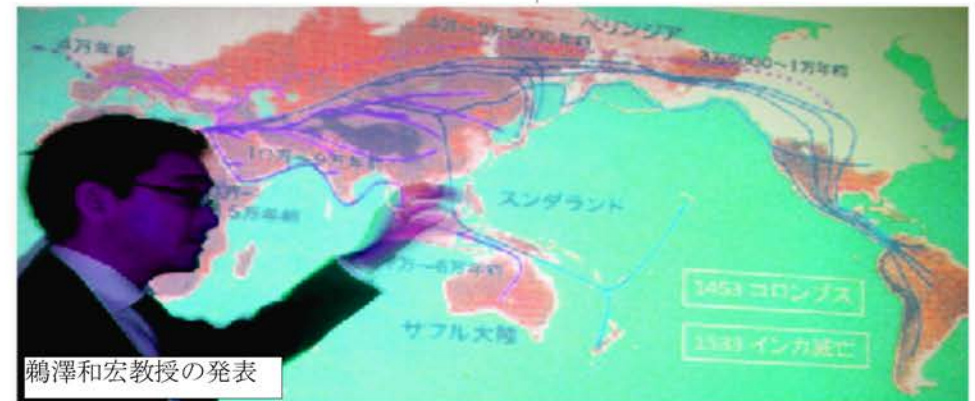
本学が“地域に生きる大学”として社会的責務を果たすには、教育と研究の質を高めることこそが重要であると考えます。東アジア圏を強く意識した研究活動の拠点を構築し、その成果を広く世界に発信するとともに、地域社会の発展に還元することを目的とします。

1. 研究活動の推進ならびにシンポジウム等の学術会議の主催、2. 本学の学部、大学院における教育活動の支援、3. 海外との学術交流事業の推進、4. 機関誌発行、電子情報媒体での情報の発信ならびに公開講座による地域貢献、5. 学術資料の収集文化、社会、歴史等の人文・社会科学的領域について、国際的視野に立った研究を推進し、その成果を発信します。

所長 崔吉城

<発起人>

穴見幹男・有福孝岳・石崎幸亮・石本弘之・金田晋・川村博忠・韓賢澤・木村健二・榎田宏治・佐々木正一・野村忠司・林孝介・古川薫・松原孝一



創立記念講演会・シンポジウム

日時：2011年12月10日（土）2時

場所：東亜大学13号館102教室

講演

<朝鮮通信使にみる日韓文化>

仲尾宏（京都造形芸術大学客員教授）

文禄・慶長の役（壬辰倭乱）によっ

て日本へ拉致された民間朝鮮人を祖国へ連れ帰ることを目的として始まった朝鮮通信使は17世紀以降12回に及んだ。通信使の役割は朝鮮国王の回答国書を江戸幕府へ届ける外交業務にくわえ、贈答品の交換、役人と学者たちの交流を含む誠実な文化交流であった。



研究会報告

第二回研究会

2011年9月29日2号館7階で、国立民族学博物館の関雄二教授を代表とする科研プロジェクトチームの一人として参加した本学の鶴澤和宏教授がこの夏ペルーで調査した映像を使いながら発表をした。調査現地にたどり着くまでの道のりは険しく、遠い。そこを調査地にしたのは東京大学の泉晴一教授が1950年代調査を始めて以降続けて調査研究をしているという。そのご永い間調査成果が蓄積されている。鶴澤教授はその最先端の研究成果を発表した。

動物の骨や人骨などから食生活を中心に発表され、中でも人間の肉を食べたということに質問が集中した。一般食であったが、儀礼食であったか。社会体制や宗教との関連などから幅広く検討されるべきであろう。学際的な研究テーマでもある。

NEWS

○開所式

創立から8ヶ月の準備期間を経て、昨年12月10日に開所式と記念シンポジウムを開催しました。



研究会報告

第一回研究会：東洋大学・アジア文化研究所の共催

2011年8月27日（土） 13:30～17:00

会 場：下関市・東亜大学 13号館7階

崔吉城：「日韓境域研究の回顧と展望—引き上げと証言」

松本誠一（東洋大学）：「日韓境域研究の時代区分と『跨境人』のタイプについて」

木村健二（下関市立大学）：「日朝間の人の移動をめぐる諸論点—最近の日本移民学会の研究
成果より」

磯永和貴（東亜大学）：「日本人の植民地へ移動」

李良姫（東亜大学）：「日韓境域における観光移動—過去と現在」

井出弘毅（東洋大学）：「巨済島キリスト教会」

<総合討論>宮下良子（東洋大学・アジア文化研究所 客員研究員）



■古城春樹（長府博物館長）は「朝鮮通信使登城行列図」（長府博物館所蔵）から朝鮮人のたばこや酒が好きなことなど観察したことなど絵解き、解説した。



■尹芝恵（西南学院大）は「絵画にみる江戸庶民と朝鮮通信使」で北斎は朝鮮人を異国風に描いて日本人と弁別化したと述べた。

朝鮮通信使行列図にみる文化表象

編集部から



■平野綿子（蘭島文化振興財団学芸員）は「朝鮮通使の展示と観光」で史実に基づきながらも地域性を表すと言った。

■魯成煥（蔚山大学校教授）は地域の原資料から地域民の意識を深めるべきとコメントした。



■木村勘太郎文庫郷土資料約3,000冊
倉光誠氏を通して寄贈された。

■日韓文交流基金から約5,000冊

■権藤博司氏が開所式とシンポをDVD韓国無形文化財29号作の銅鑼寄贈

■山本孝夫氏『柳宗悦選集』（全10巻）寄贈
〈開所式へ支援〉

■関科学技術振興記念財団から100,000円

■祝儀：石崎幸亮、石本弘之、郭賢国諸氏
それぞれ1万円

■信用組合広島商銀（缶ビール1箱）など
〈メディア報道〉

「毎日新聞」2012.1.7、「朝日新聞」2012.1.30、
「読売新聞」2011.12.11、「山口新聞」2011.12.14、2012.2.6

運営委員：櫛田宏治、金田晋、鶴澤和宏、中林博和、崔吉城

〈幹事〉鶴澤和宏・李良姫 〈研究〉磯永和貴

〈出版〉山本達夫 〈研修〉家根橋伸子